

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	高齢化、介護度の重度化の中で、その人の個性を支える必要性和、「尊厳の保持」をケアの基本としなければならない	認知症高齢者の能力に応じた自立した生活を送る為に、役割のある生活、尊厳のある生活等、生活の質に着目した支援である事	<ul style="list-style-type: none"> ・尊厳、傾聴ある態度で接する ・その人の個性に合わせお花を飾るなど、視覚的、聴覚的アプローチを行う ・外出の機会を多く取り、社会とのつながりを持つ 	12ヶ月
2	4	地域住民との交流や、地域とのつながりが難しくなっている為、運営推進委員会の場で交流を図って行きたい	地域住民の方にも、認知症の理解の核になっていただき、積極的に近隣への散歩、外出支援も取り入れて行きたい	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を2ヶ月に1度、民生委員や自治体関係者、家族の代表者に参加してもらい交流を深める ・地域のイベントには、積極的に参加する 	12ヶ月
3	30	2011年2月より、主治医が替わりました。今後も入居者の健康管理と、的確な緊急連絡体制を整えて行きます	高齢化や症状の進行に合わせ、主治医と密に連絡を取り合っていきたい	<ul style="list-style-type: none"> ・3カ月に1度緊急連絡体制の見直しをする ・往診時に入居者の状態を伝え、指示を仰ぐ等連携を図る ・職員間の連携を密にする 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。